

『逆境に 立ち向かう』 ～ 『心の持ち方の訓練』 ～

2025 年 5 月 30 日 筆者は、病理医としての定例の病理組織診断業務を担当した。『病理組織診断』とは、『顕微鏡を見て病気を診断する = 森を診て木の皮まで診る = 風貌を見て、心まで読む = 丁寧な観察力の修練』である。病理医としての経験が、【『がん哲学 = 生物学の法則 + 人間学の法則』&『がん哲学外来 = 品性のある 強靱で 高貴な心の持ち方の厳粛な訓練』】ともなった。

5 月 31 日は、『早稲田大学エクステンションセンター中野校』での講座である。

講座名：がんと生きる哲学

目標：がんとともに暮らすことを知り、がん患者と対話し、がん患者に寄りそう方法を 受講者自らがみつけ、笑顔になることをめざします。

講義概要：『がん哲学』とは 生きることの根源的な意味を考えようとする患者と、がんの発生と成長に哲学的な意味を見出そうとする医師との対話から生まれました。病理学者として 科学としての癌学には 哲学的な考え方を取り入れていく領域があるとの立場に立ち『がん哲学』を提唱しています。日本人の半分以上が がんになる時代、好むと好まざるとにかかわらず 多くの人ががんと一緒に生きる方法を見つけなければなりません。授業では テキストの読みあわせと解説をしつつ 受講者との対話を中心に講義をすすめます。がんとともに生きる患者さん、家族や身近に患者がいる人、医療従事者等 患者に寄りそいたいと思う方すべてが対象です。

テキスト：樋野興夫著『新渡戸稲造 壁を破る言葉：逆境に 立ち向かう者へ 40のメッセージ』（三笠書房）

と心温まる紹介がなされている。ただただ感謝である。『がん病理学者の社会貢献』ともなれば幸いである。

終了後は、【2025 年度 がん哲学外来 鳩ヶ谷メディカルカフェ 第 25 回 4 周年記念講演会（担当者：峰岸裕子氏）】向かう（画像）。

2025年度 がん哲学外来 鳩ヶ谷メディカルカフェ

○がん哲学外来「メディカルカフェ」とは

2人に1人は「がん」にかかると言われる時代。

皆が抱える「悩み・不安・想い・願い」などを、お茶を飲みながら語り、分かち合い
ゆったりとした雰囲気の中、帰るときには心が軽くなる…そんな場所です。

全国200カ所を超える教会、病院、公共施設などで開催され、

がんを患うご本人だけでなくご家族、ご友人、医療関係者、関心のある方など
様々な立場の方が参加されています。お気軽にご参加ください。

2025年 **5月31日(土) 14:30～** (14:00開場)

第25回 4周年記念特別講演会



講師 **樋野興夫 先生**

樋野 興夫 (ひの おきお)

1954年、足利生まれ。一般社団法人がん哲学外来名誉理事長。2008年「がん哲学外来」を開設。医療現場にある「疑問」
を担う活動を行っている。順天堂大学名誉教授。新設戸部記念センター長、恵泉女子学園理事長。
著書に「がん哲学へようこそ」(新泉社)、「明日の世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい」(文芸春秋)など多数。

会場 **鳩ヶ谷福音自由教会**

〒334-0001埼玉県川口市桜町6丁目11-12

教会 ☎ 048-285-6060



国際興業バス「鳩ヶ谷公民館前」行き「鳩ヶ谷浄水場入口」

下車徒歩2分。

埼玉高速鉄道「新井宿駅」下車2番出口徒歩8分。

開催日程

第24回 4/5(土)

第26回 8/2(土)

第27回 10/4(土)

第28回 12/6(土)

第29回 2/7(土)

13:30～15:30

(13:00開場)

**感染症対策
についてお願い**

マスクの着用、検温、手指の消毒
換気をさせていただきます。

参加無料。事前にお申込みください。

主催：鳩ヶ谷メディカルカフェ世話人会

後援：一般社団法人 がん哲学外来

お申込み、お問い合わせはこちら

☎070-1524-3038 (担当 峰岸)

hatogayacafe@gmail.com

お名前と当日連絡がつく電話番号をお知らせください。